

製品名: STAT1 α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83843**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.49mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	87 kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT1 alpha CANDF7; ISGF 3 ; Signal transducer and activator of transcription 1, 91kDa; Signal transducer and activator of transcription 1-alpha/beta; Stat1; STAT91; Transcription factor ISGF-3 components p91/p84;;STAT1
別名	
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P42224
免疫原	ヒト STAT1 由来の合成ペプチド

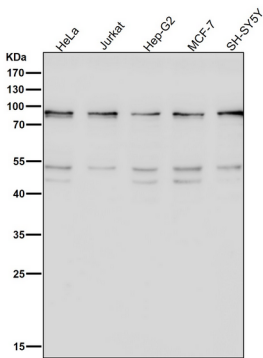
背景

I型インターフェロン (IFN- α および IFN- β) が細胞表面受容体に結合した後、タンパク質キナーゼを介したシグナル伝達により、JAKキナーゼ (TYK2 および JAK1) が活性化され、STAT1 および STAT2 のチロシンリン酸化が起こります。リン酸化 STAT は二量体を形成し、ISGF3G/IRF-9 と会合して ISGF3 転写因子と呼ばれる複合体を形成し、核内に移行します。

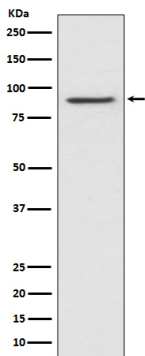
研究分野

画像データ

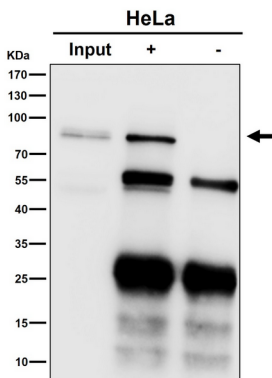
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

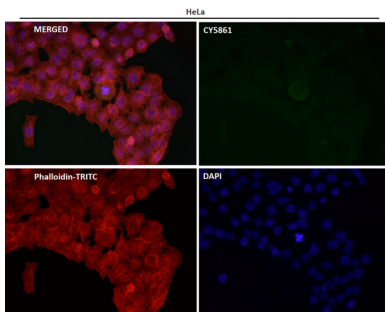


HeLa 細胞溶解物中の STAT1 α 発現のウェスタンプロット分析。



1:50 希釈の抗体を使用した免疫沈降 (IP) 分析。 (1:6K 希釈の wb)





1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。